

所得税累進課税率、『自己完結型貯蓄医療保険導入』についての 進言書

子育てをめぐる所得制限の撤廃について賛同いたします。

生活保護受給者世帯を見れば顕著ですが、犯罪を起こすのは非課税世帯が多いにも拘わらず、非課税世帯ばかりが優遇されるという不条理が長く続いてきました。これをきっかけに、非課税世帯・生活保護世帯へ「もらってばかりで恥ずかしくないの？」を国是にすべきだと思います。

日本が衰退した理由は、共産脳によるミソリード（富の再分配なるもの）が原因で『行き過ぎた福祉』が定着したからとしか思えません。共産脳は、妬みを正論風に偽装して富裕層を苦しめる算段をするのが「お家芸」。

現行の医療保険制度は、暇潰し通院魔にとっては最高の制度でしょうが、病院に行く暇もなく多忙な者は、アカの他人の医療費を払ってあげるばかりで、不平等感から、海外への移住者が後を絶ちません。

また、生活保護受給者は、看護師さんの身体に触る目的で仮病で通院したり、看護師さんの側にいる男性医師への嫉妬心からモンスタークレマーになったり、。このような人種を手厚く保護する生活保護制度は異常です。

富裕層が日本に戻ってきたくなくなるような税制にすべきという観点から進言させていただきます。

1、富裕層の累進課税率の引き下げを。

2、自己完結型貯蓄医療保険の導入を。

現行の医療保険制度を保ちつつ、『自己完結型貯蓄医療保険』を導入し、国民はいずれかひとつの医療保険に入らなくてはならない。

この制度は、年間6万円以上150万円以下を年4回に分割して納めるか一括払い。病気した場合は、蓄えた額から医療費を支払う。不足分は一括払い・分割払いができる。

この制度は、国による強制的預金のようなもので、貯金できない性格の方に有益。医療費は100%自己負担となるが、他人の医療費については一円も扶助しない自己完結型。

3、生活保護受給者の『医療保険料ゼロ医療費ゼロ問題』を解決するため、生活保護受給者も国保に強制加入させるべき。日本は国民皆保険制度ですから、生活保護受給者を強制加入させないなら、国民の権利を全て剥奪すべきです。（日本国憲法・・・全ての権利は義務を有するに準拠）